

Title	平和とスピリチュアリティ：21世紀社会へのスピリチュアリティ論の貢献 実施結果：アンケート集計結果の概要(総合研究所 News 2015 年度 聖 学院大学総合研究所 カウンセリング研究センター主催：スピリチュア ルケア研究講演会
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.25No.3, 2016.3 :39-41
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=5739
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

総合研究所 News

2015年度 聖学院大学総合研究所 カウンセリング研究センター主催 スピリチュアルケア研究講演会 平和とスピリチュアリティ ー21世紀社会へのスピリチュアリティ論の貢献ー 実施結果—アンケート集計結果の概要

人間の宗教性にまで深めた政治学、社会学、倫理学が今、求められています。文化の多様化が必須になる21世紀社会は、経済的価値観を越えたスピリチュアルな考え方が求められています。長い間、政治学の研究と教育にたずさわり本学の理事長である阿久戸光晴先生から、最も緊急課題である平和とスピリチュアリティについてお話いただきます。

日時 2016年1月15日（金）15：20～17：50

場所 聖学院大学ヴェリタス館教授会室

【プログラム】

開会挨拶・司会

窪寺 俊之

（聖学院大学大学院教授・聖学院大学人間福祉学部子ども心理学科長）

講演

阿久戸光晴

（学校法人聖学院理事長・院長 聖学院大学教授）

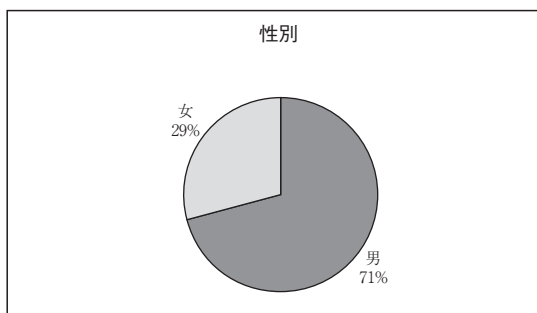
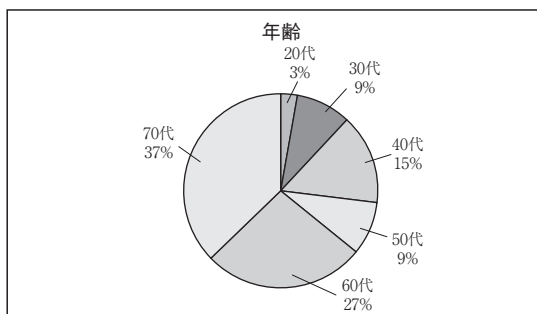
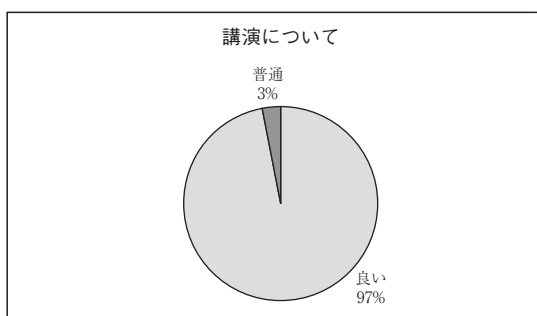
質疑応答

閉会

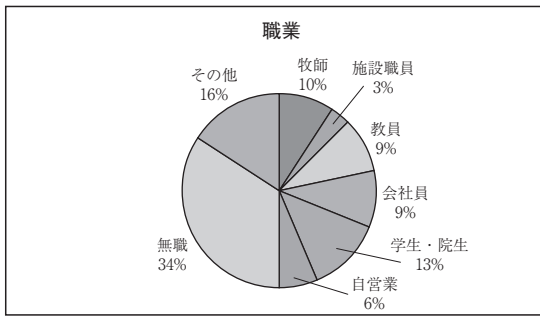
【結果の概要】

・参加者は62名。内、アンケート回答者は33名。

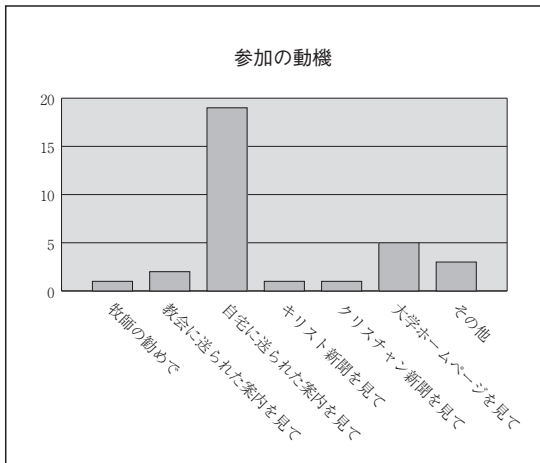
- ・回答者のプロフィールとして、年代は「60代」「70代」で64%となり、「男性」が7割だった。
- ・講演について、「良い」という意見が97%と高い評価を得た。
- ・「自由意見」では、「素晴らしい講演だった」「とても興味深いお話だった」「良い企画、素晴らしい講演」など。



*回答者のプロフィールとして、年齢は「70代」が最も多く37%、次に「60代」27%。
男女別では、「男性」が7割となった。



＊職業別では、「無職」34%、「学生・院生」13%。「その他」の内容は、「学校職員」「主婦」など。



＊参加の動機としては、「自宅に送られた案内を見て」が最も多く、次に「大学ホームページを見て」となった。

「その他」の内容は、「友人の勧めで」「学内のニュースで」など。

今後、聞いてみたい講演会や希望

- ・障がい者が社会の中で生きていくうえでの困難がどのようなものか、周りはどのように支えていけばよいか。心構えなど。平和が危ぶまれる時代、ますます生きづらくなるのではないかと思いますので。
- ・日本人がよく言及するところの「心」と「スピリチュアリティ」の関係、そして教育的な意味について関心があります。
- ・情報社会の現代、若者たちの考え方は昭和時代との違いを感じられる内容に変化しているのか、話を聞きたい。
- ・キリスト教各派の代表に集まっていただき、「神とは何か?」「神の本質は?」などを抽象的のみ

ではなく、具体的に論争するシンポジウムをぜひ開催をお願いします。

- ・窪寺先生の蓄積された知恵をベースとして、今回のように「平和」を論じたように、現在の社会問題、例えば、「経済格差」、「セーフティネット」「超高齢化社会」などを論じてほしい。
- ・①人間は何故殺し合うのか?
- ・②人類だけが不自然な事をして、この地球を住みにくく、他の生物種も減少させているが何故か?
- ・男女共同参画社会に向けての、啓発できるような講演会が聞きたいと思います。
- ・阿久戸先生の講演。
- ・この種の話をお聞きしたい。
- ・今回の続きを、再び開いて欲しい。
- ・平和と愛をうたではこぶ、「たかはしべんさん!」

自由意見

- ・憲法を読み上げて下さったのが大変良かったと思います。今こそ憲法を学び平和を守らないと思います。宗教は難しいけど、理解して他者に歩み寄ることが大切ですね。スピリチュアリティの講演を何度もお聞きしましたが、ごく入口を学んでいる気がします。人間の尊厳に触れていただき、心に感じました。今日の講演は身近に感じる事が出来ました。社会の問題と絡んでいたからだと思います。
 - ・とても興味深いお話でした。どんな対者も学ばべきという事は、絶えずこころして行きたい事だと思わされた。
 - ・「コーラン」は復讐を抑制するのにうまく機能していない（正統な殺しがあることを容認している条項があるので）のではないかと考えています。「敵のために祈れ」と言われた主イエス・キリストの教えの方がmuch betterであると信じています。最後まで他者のため、罪の赦しと救いのため、命を献げられたお方が遣わされた聖書とともに、これからが私の霊が平和の証しをしていくことを強く望んでいます。
 - ・本日はお話から私の活動のヒントが沢山得られました。ありがとうございました。
- 「傾聴」がスピリチュアリティでは対話に結びつ

く上で、重要であるというお話は全く同感です。また、関係性（家庭内、組織、地域…）が現在の日本社会では重視されている様に感じています。

- ・ケアマネジャーを自営で行っています。「他者から学び、益々自分らしくなる」「何の為の勉強か」を心にしまっておきたいと思います。ありがとうございました。
- ・自分自身にしっかり向き合い、確かな存在の神ヘイエス・キリストを通して祈願していきたい。みことばをしっかり聴き、真の平和を求めて！自己統合→自己創造→自己超越の三つが流れる螺旋状にスピリチュアリティが関わってくるこの関係をわかりやすく説明下さり、どうどうめぐりでなく、自らを見出し受け止めていきたい。前進したい、傾聴しつつ。
- ・平和への道について、一つの方法なり知見が得られたことに感謝します。ありがとうございました。
- ・本日の阿久戸光晴先生のお話はすばらしかったです。横浜から2時間以上かけて参加した甲斐がありました。ありがとうございました。
- ・貴大学のようなキリスト教大学が、信仰離れが広がっている世相の中で、イエス・キリストを主とする信仰の底力が実は素晴らしく影響を与える力であり、未来の人類にとっても重要なものであると。証しができるような生き方が出来ますよう励まして下さい。大いに期待しています。本日はありがとうございました。
- ・脳梗塞のリハビリ中で、理解するのが大変困難でしたが、大きな刺激となり、感謝します。
- ・本学人間福祉学科の学生です。すばらしい講演をありがとうございました。今後、福祉を志すものとして、大変大切な考えをまた、学ばせていただきました。YMCAの新聞の記事は宝物になりそうです。真の平和を作っていきたいと思いました。
- ・自己超越に向う人間のスピリチュアリティを他者との関係の中で育み、また神様との関係の中で、自分をも他者をも肯定できるものとして支えたいと改めて思いました。スピリチュアルケアの“意味”を新たな視点から考えさせていただ

きました。ありがとうございました。

休会のことですが、ぜひ今後も社会に発信し続けていただければと思います。

- ・大変素晴らしい講演でした。本当にありがとうございました。
- ・スピリチュアリティの研究が窪寺先生が退職されたあとも、続きますように。
- ・窪寺先生の最後に出られて良かったです。窪寺先生、ありがとうございました。
- ・多くの有意義なお話、ありがとうございました。
- ・とても面白かったです。ありがとうございました。
- ・良い企画、素晴らしい講演に感謝。
- ・深い内容、じっくり聞け、質疑もたっぷりあり良かったです。
- ・直に質問を受けていただき、光栄でございました。
- ・スピリチュアリティとは何かと思っていましたが、少し分かってきました。
- ・ありがとうございました。
- ・どうもありがとうございます。
- ・4月から大学院（アメリカ・ヨーロッパ文化）でお世話になります。
- ・今日は空調がエラーでした。寒い風になるのはどうしてでしょう？